

きらめく美

北陸ゆかりの截金作家たち

Elegant Luster of Gold

2020年11月19日(木)~12月20日(日)会期中無休

9:30 am. ~18:00 pm. (入館は17:30 pm. まで)

一般: 370円 (290円) 大学生: 290円 (230円) 高校生以下無料

() 内は20名以上の団体料金

西出大三・高瀬孝信・山本 茜

平安時代から鎌倉時代の仏画や仏像の装飾に用いられ、高度に発達した「^{きりかね}截金」。金などの箔をごく細かい菱形や、髪の毛よりも細い線に切り、^{にかわ}膠や^{ふのり}布海苔などで貼り付けて文様を構成する技法です。京都の本願寺系仏画師の間に、技法が継承されましたが、貴族社会の終焉とともに截金も衰退しました。近代を迎えて工芸技術の無形文化財指定が進むと、最盛期の截金を復興、独立した工芸技術として、優れた作品を発表する作家が現れました。重要無形文化財「截金」保持者(人間国宝)、^{さいだ}齋田梅亭(1990~1981)、^{にしで}西出大三(1913~1995)、^{えり}江里佐代子(1945~2007)です。この内、西出大三は石川県加賀市生まれで、本年で没後25年を迎えます。

石川県立美術館ではこの節目の年に、^{たかせ}高瀬孝信と^{やまもと}山本茜の2名とともに、北陸ゆかりの截金作家としてご紹介します。西出は仏師を目指して東京美術学校に学び、在学中に出会った截金を研究しました。自ら木彫した器物に、抒情的な彩色と截金を施した作品は、西出独自のものです。高瀬は大阪府生まれで富山県に育ち、齋田梅亭の高弟として、師から受け継いだ技術をさらなる高みへ昇華させました。山本は金沢市生まれ、京都で日本画を学びながら江里佐代子に師事して截金を習得、富山でガラス成形を学んで、截金ガラスという新しい分野を切り拓きました。三者三様のきらめく美の世界をご覧ください。



《截金彩色飾盆 浮舟》 西出大三 (石川県立美術館蔵)



《截金彩色油色 花の合子》 西出大三 (石川県立美術館蔵)

西出大三 NISHIDE Daizo (1913~1995)

加賀市生まれ。古美術修復を通じて截金の研究を重ねる。1955年、国の記録作成等の措置を講ずべき無形文化財として、截金の技術記録を提出。精緻な截金を施した木彫彩色作品が高く評価され、1985年に重要無形文化財「截金」保持者に認定。

高瀬孝信 TAKASE Takanobu (1931~2001)

大阪府堺市生まれ、富山県で育つ。京都の截金仏画師で、後の重要無形文化財「截金」保持者の齋田梅亭に内弟子として師事する。独立後は、日本伝統工芸展等で活躍。同展で日本工芸会総裁賞、高松宮記念賞を受賞。鑑査委員も務めた。



《截金竹丸流水花文四方盆》 高瀬孝信 (砺波市美術館蔵)



《截金砂子秋草文飾唐櫃》 高瀬孝信 (砺波市美術館蔵)

山本 茜 YAMAMOTO Akane (1977~)

金沢市生まれ。京都市立芸術大学で日本画を学び、重要無形文化財「截金」保持者の江里佐代子に師事。卒業後、富山ガラス造形研究所でガラス成形を習得し、截金ガラス作品を創案。日本伝統工芸展でNHK会長賞を受賞。日本工芸会正会員。



《深淵を覗く》 山本 茜 ©鍋島 徳恭



《一葉舟》 山本 茜

アクセス

■バス
金沢駅東口より
〔兼六園シャトル〕
県立美術館・成興閣前
下車徒歩2分
(城下まち金沢周遊バス)
広坂・21世紀美術館前
下車徒歩5分

■タクシー
金沢駅より約15分
■自動車
北陸自動車道金沢西IC
金沢森本ICより20分



石川県立美術館

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART
〒920-0963 金沢市出羽町2番1号
Tel 076-231-7580 Fax 076-224-9550

